

令和7年度第2回米子市まちづくり活動支援交付金審査委員会 議事録（概要）

○開催日時 令和7年8月26日（火） 13時30分から16時00分まで

○開催場所 米子市役所本庁舎4階 401会議室

【各申請団体プレゼンテーション概要】

申請団体1

陽田町自治会

事業名

防災を中心とした陽田町まつり

事業概要

コロナ禍で途絶えていた地域の祭りを復活させるにあたり、コロナ禍前よりも盛り上がる行事にしたい。また、昨今頻発する各種災害に対し、地域住民に防災の意識を根付かせるため、防災に関連した内容を祭りに取入れている。

《発表内容》

- ・陽田町では約20年前から2年交代で自治会長を務めており、祭りは27年前から続いています。形式は様々で、6年前はミニ運動会のような形でした。令和3年と5年はコロナで中止となり、再開には不安がありました。実際、公民館行事では参加者がほとんどおらず、運営も困難な状況でした。一方で、一斉清掃などには毎回約90人が参加しており、地域のつながりは残っています。
- ・今年3月、「三柳団地二区が消防長会賞受賞」という記事をきっかけに、防災をテーマにした祭りを企画することにしました。子どもや高齢者に人気のストラックアウトを手作りで3台用意し、今回は個人種目だけでなく、ビブスを使ったグループ対抗戦も取り入れ、地域のつながりを強める内容にしていきます。種目は各部会で検討予定です。

《質疑応答》

- ・ストラックアウトを3つ作るとおっしゃいましたが、その用具がサン・アビリティーズや産業体育館にあって、空いてれば無料で借りられますが、そういうことを考えるのはどうですか？レクリエーション協会に相談してみる事をおすすめします。作らなくてもできる方法がありますよ。
- ⇒今回は作成しようと思います。
- ・内容的に防災ということだが、内容はほとんど運動会のような感じなのか？
- ⇒今回のプログラムの裏面をご覧ください。鯛釣りでは、釣る魚の裏に防災グッズをつけることで、防災グッズの紹介に繋げるように考えている。また、新聞紙によるスリッパ作りでは実際に避難所等でも実践できる取組でもある。防災と関連したゲームや景品等についても防災グッズを用意することで、自治会内の防災啓発をしていきたい。- ・タオルについて、安全に避難したことを知らせる目的であると思うが、一方でこれにより空き巣被害につながる事例も出ている。これについてはどのように対策をしていくか？

⇒この点については対策等は考えていなかった。

- ・ビブスやタオルについては、どれぐらいの数を想定していますか？
- ⇒ビブスについては20枚、タオルについては113枚を予定しています。
- ・のぼり旗はどのような文言であるか？
- ⇒「防災を中心とした陽田町まつり」とします。
- ・陽田町自体は防災会はあるのでしょうか？もしあれば、こちらの会に対する補助金があると思うがいかがか？
- ⇒令和元年に防災会は発足しているが、コロナにより活動はしていない状態です。今回のイベントから、防災会についても動くきっかけとしていきたい。

申請団体2

竹の活用を考える会

事業名

竹あかり小径

事業概要

新米子市発足20周年を記念して、淀江の伝統芸能をより広く知ってもらいたい思いから、竹を使った淀江の和傘にちなんで、竹灯籠など竹の活用を考えてもらうきっかけを作りたい。会場となる伯耆古代の丘公園の側にある竹林の整備も兼ね、伐採した竹を住民と共に作品に変えていき、多くの人に竹の可能性を考えてもらうきっかけとする。

《発表内容》

- ・近年、米子市郊外でイノシシや鹿の目撃が増え、里山管理の不十分さが問題となっています。森林では竹林の拡大が目立つなど諸問題があることから「竹を考える会」を発足しました。
- ・日本古来の竹製品（淀江和傘、竹炭、竹チップなど）や、竹の成分を生かした化粧品・繊維・建材・食品（たけのこ、メンマなど）の紹介を通じて、竹の価値を再認識してもらいたいと考えています。竹は成長が早く（約5年）、古くから遊具や生活用品としても活用されてきました。
- ・放置竹林を有効活用する第一歩として「竹灯籠作り体験」を企画。伯耆古代の丘公園で竹灯籠を使った「竹あかり小径」を計画しており、作品を通じ多くの人に参加してもらいたいです。今年は公園開園30周年と米子市淀江町合併20周年でもあり、約200年の歴史を持つ淀江和傘の魅力も伝えたいと考えています。材料は同公園の竹を伐採して活用し、地域の学校や公民館との交流・地域活性化にもつなげます。
- ・また「がいな万灯」などへの地産地消の活用も提案し、竹林や里山の見直しのきっかけにしていきたいと考えています。

《質疑応答》

- ・伯耆古代の丘公園内での展示は竹灯籠だけでしょうか？それとも淀江の和傘等とともに展示する予定でしょうか？
- ⇒淀江の和傘についても展示していきたいと考えています。
- ・この活動は継続的に取り組んでいくお考えでしょうか？継続していくとすると竹灯籠なんかがたくさん溜まってくると思うので、古代の丘公園以外でのイベント等に活用することは考えていますか？
- ⇒継続して活動していきたいと考えています。1つの竹作品を継続して利用するためには、油塗りの加工をする必要がある。もし、しなければ3カ月程度で割れてしまう。この加工がかなり大変

であるので、同じ作品を継続していくのは困難である。毎年に入れ替えをすることで竹林の維持にもなるため、事業は継続するが、作品自体は新たに作り出していく事を考えている。他の竹灯籠とは違い、今回の計画では、竹に穴をあけるだけではなく、穴を開けた裏地に和紙を貼っていきます。我々のところは淀江傘ですから、傘には和紙を使っています。各地から取り寄せた和紙を使って、淀江ならではの差別化をした作品を作っていきます。250個から300個の竹灯籠を使う計画です。そこに参加者を100人から150人ぐらい作ってもらった方に出していただく。その出した方が見るその家族が見に来る、その家族からの口コミで来るということになります。当初予定では1日だけを予定していましたが、2日間を予定して実施したいと考えて作品作りを進めています。

・銀行からの補助金は、どのようなものでしょうか？

⇒森林を守ろうネットワーク山陰会議に、登録しており、交流事業というものがございます。竹を使っていろんなものを作って森林を保全していく。その流れを皆さんに知ってもらうという形の事業で、そこへも3万円の補助金申請を出しています。全体の20万円の中の3万円を銀行さんの方から、そしてこちらの方から10万円の補助金をいただいてあとは自主財源で7万円を工面して実施したいと考えてます。補助金については、細かいことはわかりませんが毎年いただけるというふうに伺っています。

申請団体3

岡本おさみさんを語る会

事業名

旅に唄あり演劇と音楽の2days-岡本おさみさんと出会う2日間-

事業概要

米子出身の作詞家岡本おさみさんの功績を讃え、昨年11月公会堂前庭に「岡本おさみ音楽記念碑」を建設した。それ以来、全国からフォークソングファンが米子市に訪れている。これを好機と捉え、岡本おさみさんをテーマとし、演劇と音楽講演を開催する。

《発表内容》

- ・2年前、「岡本おさみさんを語る会」を全国のフォークソングファン50名で立ち上げ、米子に人を呼ぶきっかけとして音楽記念碑を建てる活動を始めました。資金はクラウドファンディングで集め、昨年11月30日に記念碑の完成式典を開催。その後は記念碑を活用したまちづくりを目指しています。
 - ・今年に関連イベントとして、55年活動している演劇集団「あり」が岡本さんを題材にした90分の芝居を上演予定。観客と一緒に歌う場面も設け、岡本さんを知らない人にも親しみやすい内容になっています。また、19日には全国9バンドが集まる音楽イベントを開催。資金は入場料（2日間通しで1500円、高校生以下無料）を中心に実施します。
- イベントの事業計画は来場者300人を目標にしていますが、実際にはそれ以上の来場を期待しています。音楽を通じて米子を訪れる人を増やし、まちづくりに貢献したいと考えています。

《質疑応答》

- ・支出の部にて、ポスターチラシ2万枚記載がありまして、結構な数になると思うんですけど具体的にどういったところで配布を検討されておられるのでしょうか？
- ⇒米子市だけではなくて、中海圏域あたりのいろいろなイベントをしていらっしゃる方々、団体へ

の依頼をしまして、その催しにチラシを入れさせていただいてるというのが基本となっています。それからこの機会に全国から来ていただきたいというのが大きな目的でもありますので、全国にチラシを配布しております。全国に200件を超えるフォーク酒場があるんですけども、そのフォークソング酒場、それから今までクラウドファンディングで支援していただいた皆さんに、チラシを配っていただけないかということで、チラシを送付しているということでございます。

・広告協賛について、大体何件ぐらい想定していますか？

⇒1口5000円です。それから、企業の皆様から1万円単位でご協力いただいているものがありまして、これは当日配布するプログラムの中でご紹介しようかなと思っております。件数はざっくり20件ぐらいあるかなというところですよ。

・これは今年限りのイベントでしょうか？

⇒今年が3回目ですが、一昨年去年は小さなライブハウスというようなところで100人ぐらいで開催しました。全国から来ていただいて、やってるんですけども、これからも定期的開催していこうと思っています。

申請団体 4

一般財団法人米子青年会議所

事業名

GAINA 激辛フェス 2025

事業概要

米子市の新たな観光資源を創出し、賑わいの場所を創り出すために激辛をコンセプトにしたマルシェを開催する。

《発表内容》

・「GAINA 激辛フェス 2025」は、米子市で初開催となる“激辛”をテーマにしたマルシェ形式のイベントです。主催は、鳥取県西部を拠点にまちづくりや国際活動などを行う、20～40代の若者で構成された団体です。

激辛を切り口に地域活性化を目指し、全国的にも注目されている「激辛によるまちおこし」の成功例（京都府向日市）を参考に企画しました。40店舗の募集に対して約60件の応募があり、地元を中心に厳選した出店が決定しています。

当日は5000～1万人の来場が見込まれ、辛さレベル1～5のメニューを各店舗で提供予定です。さらに、地域のヒーロー「イワシマン」やアイドル「ベガリオ」などのステージ出演を通じ、地元の魅力を内外に発信します。

本イベントには市民からも高い関心が寄せられており、今後は実行委員会の立ち上げを視野に入れ、自走可能な継続事業へと育てていきたいと考えています。

《質疑応答》

・激辛というところに注目してされたということで、来場者の対象年齢はどのようなところを考慮されますか？

⇒激辛ということですので、やはりお子様には少し敷居が高いかもしれませんが、激辛フェスといえども、通常販売しているメニューも同時に販売しますので、幅広い層に来ていただいても全く

問題はないのかなと思います。また、今回の会場が弓ヶ浜公園になりますので、弓ヶ浜公園に会場されるようなお子様や保護者にも楽しんでいただけるようにヒーローショーやアイドルグループのステージショーというところを企画してますので、全年齢が楽しんでいただけるような取り組みになるかなと考えております。

・弓ヶ浜公園の大きい広場にて開催するというので、雨天であっても開催するのでしょうか？

⇒雨天でも決行はしますが、注意報や警報が出る場合は、早い段階で中止の判断をする。

その場合は特に代替のイベントっていうのは考えてませんので中止になったら、今回の取り組みは終了という形になるかと思います。

・ステージイベントされるということで、イワシマンさんやベガリオさんっていう方が出演されるということなんですが、激辛フェスということで、ステージ激辛に関する催し物だったりとか、例えば激辛王決定戦みたいな、そういった特殊なイベントみたいなのはされたりする予定があるのでしょうか？

⇒タイムスケジュールとしては、11時イワシマンショー、12時には来場者が一番多く見込まれる時間帯ですので、出店者の紹介、13時から激辛完食コンテストというものを希望者10名程度集まって、食べきりで景品をお渡しするというような取り組み、14時からベガリオさんのライブステージショーで、15時にイベント自体が終了となるんですけども、その後に参加者からGoogleフォームで投票いただいた結果をもとに、一番人気が高かった店舗様を表彰する激辛グランプリを含めた閉会式を開催する予定となっております。

【審査結果】

◇審査結果

申請のあった4団体の事業をすべて「採用（交付金の交付）」と判定した。

◇交付金の交付に当たっての審査会からの付帯事項

(陽田町自治会)

・祭りにて使用するストラックアウト等の器具については、無料レンタルをしている団体がある。資金の有効活用のためにも使えるものは使ってほしい。災害時に玄関等に安全を知らせるタオルを設置する事について、空き巣被害に繋がる事例もある事から、取組についてはよく検討してもらいたい。

自治会長の任期の問題はあるかと思うが、継続的な活動にしてもらいたい。

(竹の活用を考える会)

・特になし

(岡本おさみさんを語る会)

・特になし

(一般社団法人米子青年会議所)

・特になし